

2013年度第2四半期 決算説明会

2013年10月30日

新日鐵住金株式会社
執行役員財務部長
宮本 勝弘

目次

1. 2013年度上期決算実績
2. 2013年度決算見通し
3. 中期経営計画の進捗状況
4. ご参考

1. 2013年度上期決算実績

2013年度上期決算の概況

需給環境 (13年度上期)

- 国内鋼材需要：土木・建築部門は復興需要継続や緊急経済対策の執行が本格化
設備投資の回復・景況感の好転等に伴い、製造業向けも需要が増加
- 輸出環境：海外経済の回復・超円高の修正等により回復の動き
- 国際市況：中国鉄鋼メーカーの供給圧力が依然強く、鋼材需給の軟化が継続し、引き続き低迷

当社の取組み

- 粗鋼量：12下期 2,145→13上期 2,302万t (+158万t)*¹
- 出荷量：12下期 2,037→13上期 2,097万t (+60万t)*¹
- 中期経営計画を着実に実行、統合シナジーを含めたコスト合理化、資産圧縮等も順調に進展
- グローバル拠点も逐次立上げ中

決算概況

- 上期経常損益 1,736億円(対見通し+236億円)^{*2}、上期当期利益 1,155億円(対見通し+155億円)^{*2}
- 通期経常損益は 3,400億円を予想。(対前回見通し +400億円)^{*2}
- 中間期末の剰余金の配当は、既公表方針通り 2円/株

*1 単独ベース(日鉄住金鋼鉄和歌山含む)

*2 対前回公表(7/31)値

2013年度上期決算実績

(単位:億円)	FY12				FY13				差異	
	*1 上期 [A]	下期 [B]	*1 年度 実績 [A+B]	年度 実績 (存続会社 ベース)	1Q	2Q	上期	*2 上期 見通し	12/下期 → 13/上期	13/上見 → 13/上期
売上高	26,118	24,716	50,835	43,899	12,868	13,877	26,745	27,000	+2,029	-255
営業損益	131	227	358	201	560	832	1,392		+1,165	
経常損益	303	573	877	769	864	872	1,736	1,500	+1,163	+236
製鉄	148	360	509	415	757	825	1,582	1,350	+1,222	+232
鉄以外セグメント	176	229	406	406	101	59	161	170	-68	-9
調整額	-21	-16	-38	-52	5	-12	-7	-20	+9	+13
特別損益	-4,035	440	-3,595	-2,139	156	9	*3 165		-275	
当期損益	-3,104	520	-2,584	-1,245	633	521	1,155	1,000	+635	+155
(一株当り当期損益)		(5.7)		(-16.2)	(7.0)	(5.7)	(12.7)	(11.0)	(+7.0)	(+1.7)
有利子負債残高	26,460			25,430	24,968		24,343		-1,087	
D/E レシオ				1.06	1.02		0.96		-0.1	

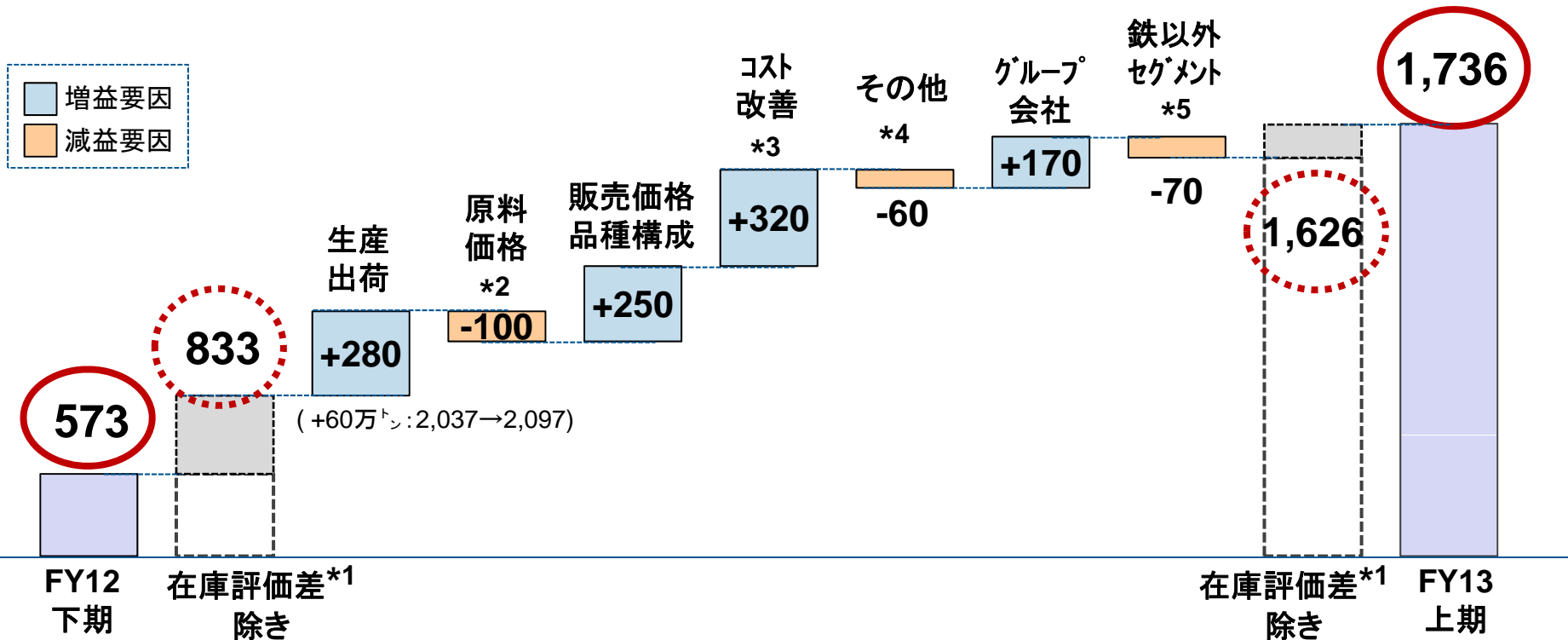
*1 FY12上期：旧両社合算ベース *2 前回公表(7/31)値

*3 1Q:投資有価証券売却損益156、2Q:投資有価証券売却益155、設備休止関連損失-145

連結経常損益分析(12/下期→13/上期)

(単位:億円)	FY12/下期 [A]	FY13/上期 [B]	増減 [A→B]
経常損益	573	1,736	+1,163
製鉄	360	1,582	+1,222
鉄以外セグメント	229	161	-68
調整額	-16	-7	+9

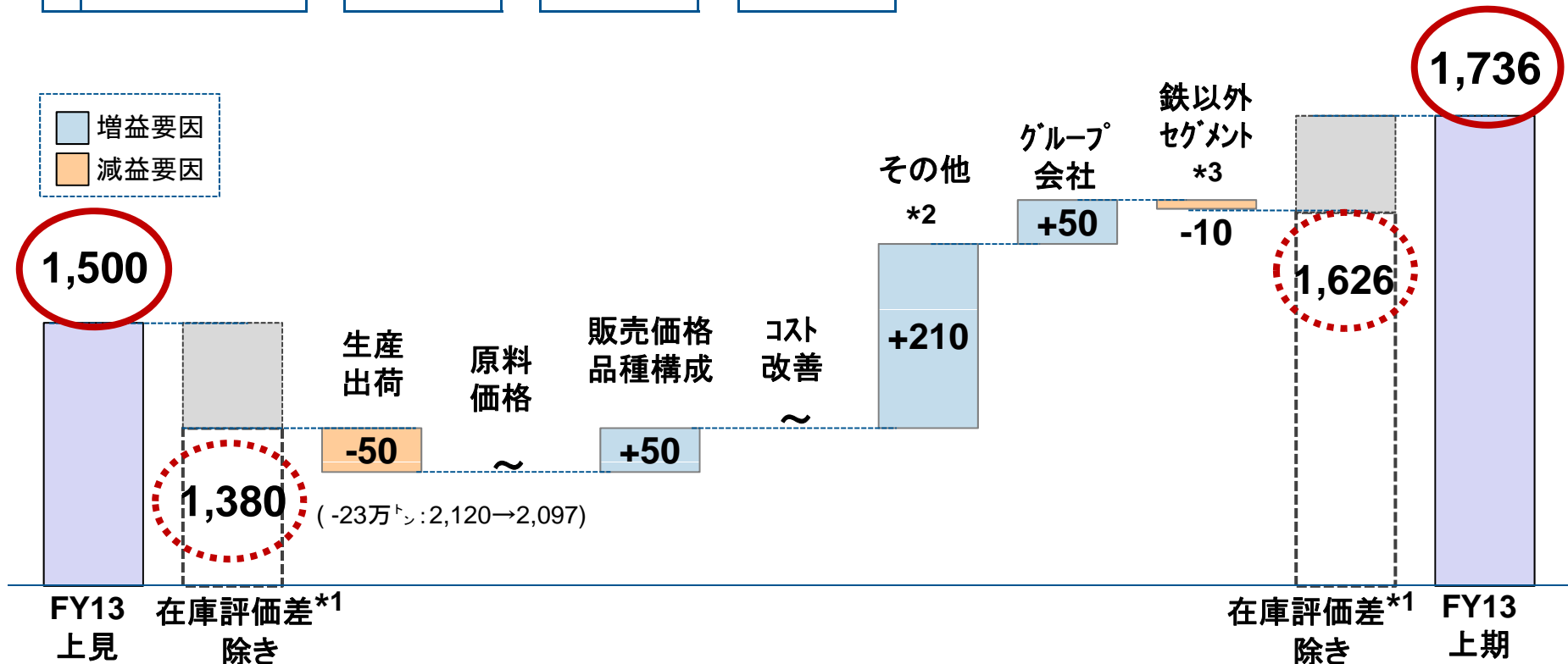
- *1 在庫評価差
FY12下/-260 → FY13上/+110
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+90含む
- *4 為替影響(フロー)他
- *5 エンジニアリング-66(季節差)、化学+9、
新素材+1、システムソリューション-11



連結経常損益分析(13/上期見通し→13/上期)

(単位:億円)	FY13上期見通し* [A]	FY13上期 [B]	増減 [A→B]
経常損益	1,500	1,736	+236
製鉄	1,350	1,582	+232
鉄以外セグメント	170	161	-9
調整額	-20	-7	+13

- *1 在庫評価差
FY13上見/+120 → FY13上/+110
- *2 為替影響(ストック)他
- *3 エンジニアリング-4、新素材+1、
システムソリューション-7



* 前回公表(7/31)値

連結貸借対照表 (2013/3月末→2013/9月末)

2013年9月末BS : 総資産 70,289億円、D/Eレシオ 0.96

(単位:億円)	FY12	FY13	対前年度末	
	3E	9E	増減	%

【資産の部】

流動資産	21,107	21,276	+169	+1%
固定資産	49,787	49,012	-774	-2%
資産計	70,894	70,289	-605	-1%

【負債及び純資産の部】

流動負債	19,811	18,639	-1,171	-6%
固定負債	21,700	20,922	-778	-4%
負債計	41,512	39,561	-1,950	-5%
純資産	29,382	30,727	+1,344	+4%
自己資本	23,940	25,236	+1,295	+5%

有利子負債残高	25,430	24,343	-1,087	-4%
D/Eレシオ	1.06	0.96	-0.1	

当第2四半期末(中間期末)の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、1株につき2円とさせていただきます。

なお、期末の配当方針につきましては、第3四半期決算発表時に判断し、公表する予定と致します。

< 利益配分に関する基本方針 >

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準としております。

2. 2013年度決算見通し

2013年度決算見通し

2013年度下期は、上期と同程度の連結経常利益1,700億円レベル、
2013年度通期では、連結経常利益3,400億円の収益を確保したい。

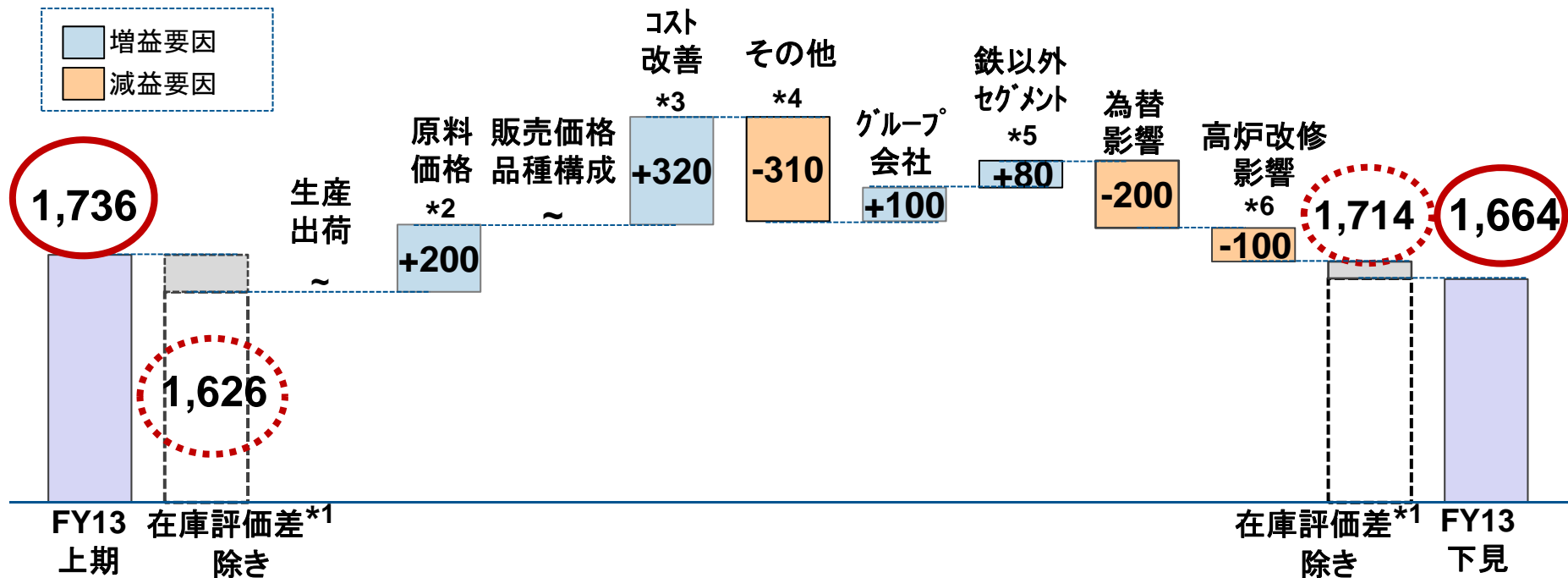
(単位:億円)	FY12				FY13			差異	
	*1 上期	下期	*1 年度 実績 [A]	年度 実績 (存続会社 ベース)	上期	下期 見通し	年度 見通し [B]	13上期 → 13下見	FY12[A] → FY13見 [B]
売上高	26,118	24,716	50,835	43,899	26,745	27,755	54,500	+1,010	+3,665
経常損益	303	573	877	769	1,736	1,664	3,400	-72	+2,523
製鉄	148	360	509	415	1,582	1,468	3,050	-114	+2,541
鉄以外セグメント	176	229	406	406	161	244	405	+83	-1
調整額	-21	-16	-38	-52	-7	-48	-55	-41	-17
当期損益	-3,104	520	-2,584	-1,245	1,155	845	2,000	-310	+4,584
(一株当り当期損益)		(5.7)		(-16.2)	(12.7)	(9.3)	(22.0)	(-3.5)	
有利子負債残高	26,460		25,430		24,343				
D/E レシオ			1.06		0.96				

*1 FY12上期：旧両社合算ベース

連結経常損益分析 (13/上期→13/下期見通し)

(単位:億円)	FY13上期 [A]	FY13下期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常損益	1,736	1,664	-72
製鉄	1,582	1,468	-114
鉄以外セグメント	161	244	+83
調整額	-7	-48	-41

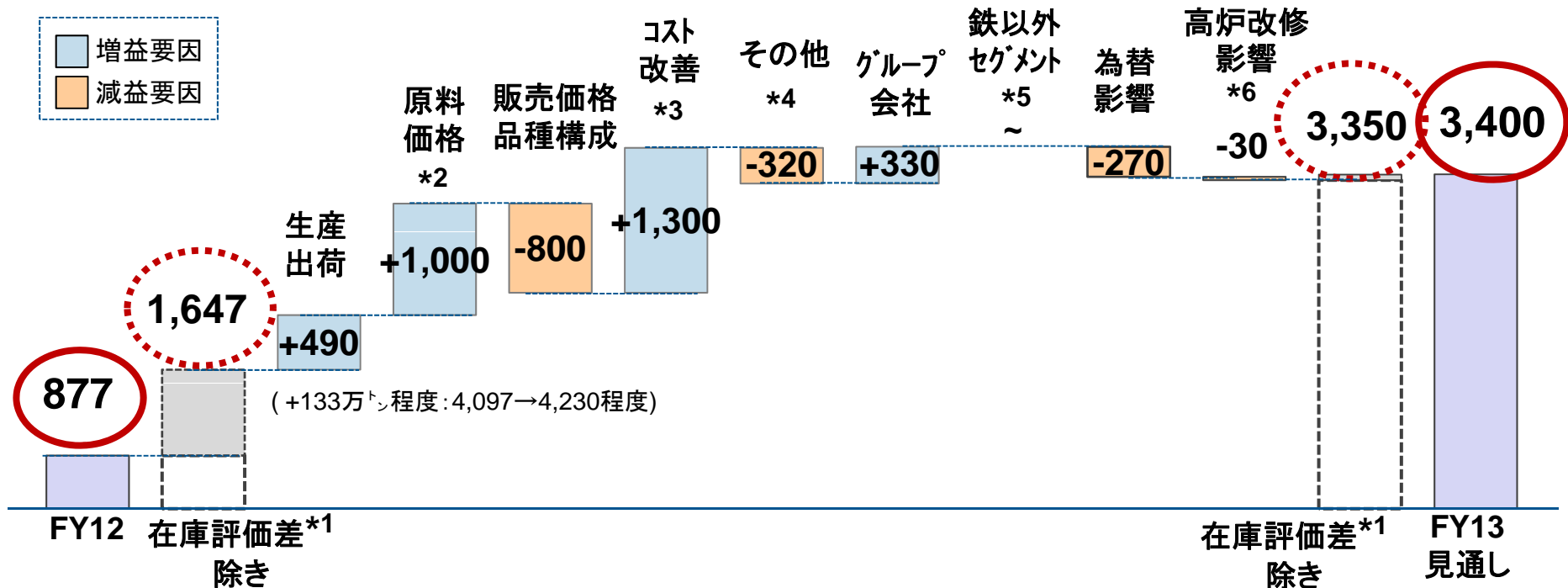
- *1 在庫評価差
FY13上/+110 → FY13下見/-50
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+60含む
- *4 償却費、賞与単価アップ他
- *5 エンジニアリング+78(季節差)、化学-25、
新素材-2、システムソリューション+34
- *6 八幡第4高炉改修コスト影響-100



連結経常損益分析 (12年度→13年度見通し)

(単位:億円)	FY12* [A]	FY13見通し [B]	増減 [A→B]
経常損益	877	3,400	+2,523
製鉄	509	3,050	+2,541
鉄以外セグメント	406	405	-1
調整額	-38	-55	-17

- *1 在庫評価差
FY12/-770 → FY13見/+50
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+300含む
- *4 賞与単価アップ他
- *5 エンジニアリング-31、化学+18、
新素材+1、システムソリューション+14
- *6 FY12君津第2高炉改修コスト影響-70 →
FY13八幡第4高炉改修コスト影響-100







* FY12: 旧両社合算ベース

製鉄以外セグメント概況 (13年度見通し)

(単位:億円)

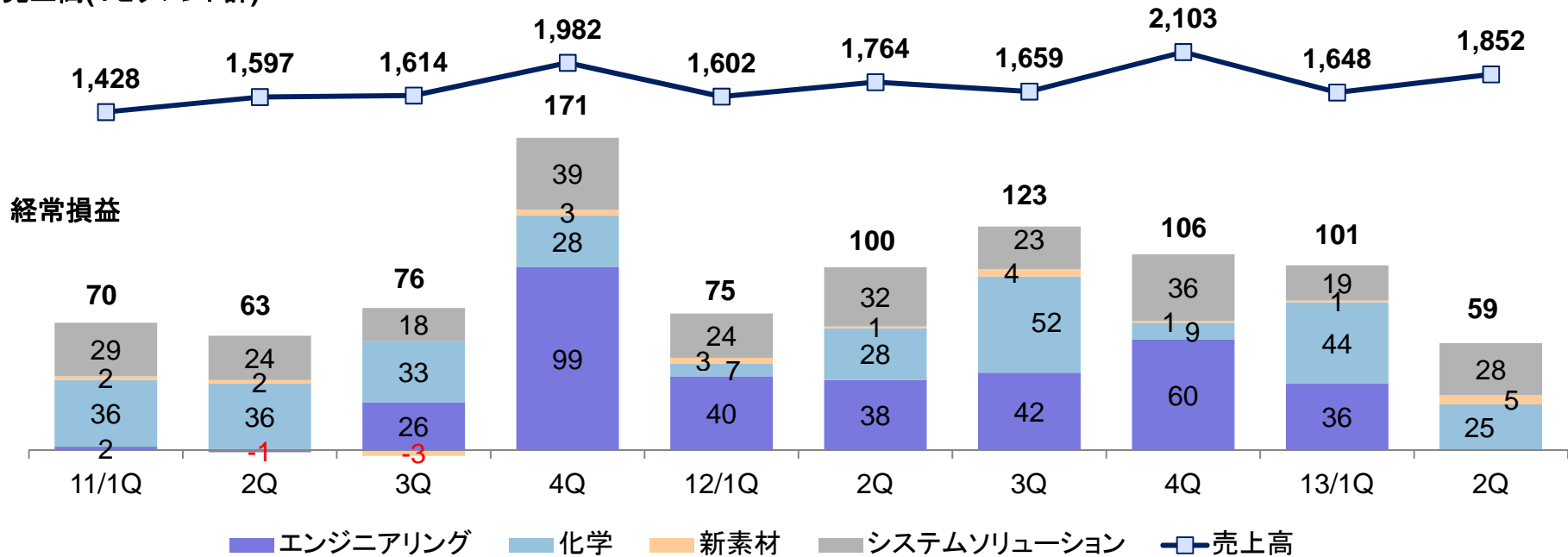
<13/上期実績>
(対前年同期)

FY13年度見通し (対前年度)	売上高	経損	常益	概況	売上高	経損	常益
 Leading with Determination NIPPON STEEL & SUMIKIN ENGINEERING エンジニアリング	2,800		150	継続的なコスト改善努力とリスク管理の徹底を図るも、過年度における受注規模減少により、減収・減益。	1,343		36
	(-230)		(-31)		(-51)		(-42)
 NIPPON STEEL & SUMIKIN CHEMICAL 化学	2,300		115	化学品の市況上昇や機能材料事業の拡販等により増収見込み。経常損益は、化学品のマージン改善、為替影響等により増益見通し。	1,150		70
	(+343)		(+18)		(+217)		(+35)
 NIPPON STEEL & SUMIKIN MATERIALS CO., LTD. 新素材	360		10	金ワイヤの銅化影響により減収。経常損益はワイヤ市場等で競争激化も、全社的なコスト改善努力を推進し、前年同期並みの見通し。	192		6
	(-62)		(+1)		(-28)		(+2)
 NS Solutions システムソリューション	1,780		130	社内業務基盤の刷新・グローバル対応等による販管費の増加を見込むも、業務ソリューション(産業・流通、金融)分野を中心に増収・増益の見通し。	814		48
	(+61)		(+14)		(-3)		(-9)
製鉄以外 セグメント 外計	7,240		405	(参考) エンジニアリング事業環境	3,500		161
	(+111)		(-1)	(億円) FY12	(+134)		(-15)
				受注高			
				受注残			

(ご参考) 製鉄以外セグメント別経常利益 四半期別推移 15

(単位:億円)	11/1Q	2Q	3Q	4Q	12/1Q	2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q
エンジニアリング	2	-1	26	99	40	38	42	60	36	-0
化学	36	36	33	28	7	28	52	9	44	25
新素材	2	2	-3	3	3	1	4	1	1	5
システムソリューション	29	24	18	39	24	32	23	36	19	28
製鉄以外セグメント計	70	63	76	171	75	100	123	106	101	59

売上高(4セグメント計)



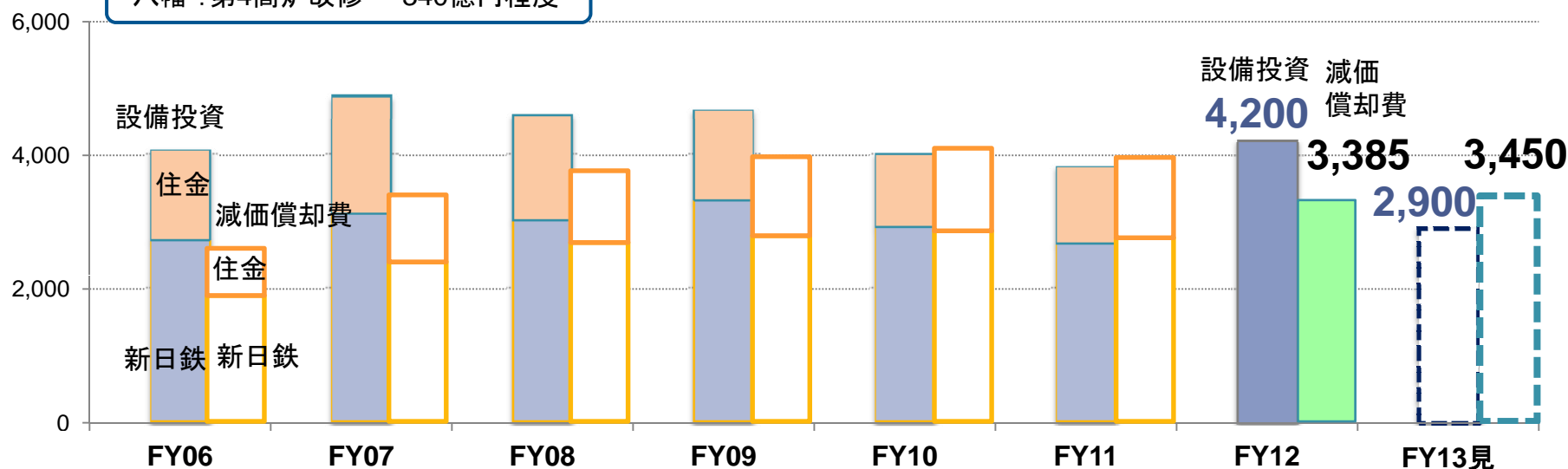
設備投資・減価償却費

(単位: 億円、連結ベース)

新日鐵住金 (上段:新日鉄 下段:住金)	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13 見通し
設備投資額 <工事ベース>	4,050 (2,700) (1,358)	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,900 程度
減価償却費	2,647 (1,925) (722)	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,450 程度

2013年度の主な設備投資案件

八幡 : 第4高炉改修 340億円程度



※ 設備投資額 : FY06～12の新日鐵住金は、新日鉄と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

3. 中期経営計画の進捗状況

① 定量的指標の推移

順調に統合効果が発現。前倒し・上積み達成に向け、諸施策推進中。

(単位:億円)		12上 実績 *1	12下 実績	13上 実績	13下 計画	14上	14下	15上	15下	中期計画 ターゲット
マイルストーン		DAY1			+1年	+2年	+3年			
ROS	売上高	26,118	24,716	26,745	27,755					最低目標 5% 更に10% 程度
	経常利益	303	573	1,736	1,664					
	ROS	1.2%	2.3%	6.5%	6.0%					
統合 シナジー	当該期 (内、コスト改善)	Base	+100 (60)	+150 (90)	+100 (60)					年率 2,000億円 以上
	累計年率		200	500	700					
資産圧縮	当該期	Base	1,000	1,400	600以上					3,000億円 程度
	累計額		1,000	2,400	3,000以上					
財務体質	有利子負債	26,460	25,430	24,343						D/E 1.0倍以下 更に0.8倍 程度
	自己資本		23,940	25,236						
	D/E	*2 1.20	1.06	0.96						

*1 FY12上期：旧両社合算ベース *2 FY12/3Q末実績

順調に各拠点を営業運転開始。成長地域・分野での生産・販売体制を強化。

	'13/3E時点	→	'14/3E時点	増減
主要な海外JV生産能力*1	約900万トン		約1,400万トン	+約500万トン(+50%)

NSGT
(タイ CGL 36万トン)



2013年10月営業運転開始

TENIGAL
(メキシコ CGL 40万トン)



2013年8月営業運転開始

CSVC
(ベトナム 冷延・CGL・電磁 120万トン)



2013年11月営業運転開始予定

NS Pipe Mexico
(メキシコ ERW 2.4万トン)



2013年5月営業運転開始



*1 持分比率反映前
伯・ウジミナス社(高炉一貫製鉄所)除き
© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

		%: NSSMC出資比率	投資額	主要設備	製造能力	FY12	FY13	FY14	FY15
事業投資	自動車用鋼板	TENIGAL (メキシコ) 49%	約 300百万\$	CGL	40万 トン/年		★ 13/8		
		JCAPCPL (TATA とのJV) (インド) 49%	約 400億円	CAPL	60万 トン/年		★ 14/1		
		NSGT (タイ) 100%	約 300百万\$	CGL	36万 トン/年		★ 13/10		
		BNA (No4 CGL新設) (中国) 50%	約 11億元	No4CGL	42万 トン/年	CGL能力 (125万トン→167万トン)			
	建材薄板	NSBS (BlueScopeとのJV) (シンガポール他) 50%	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万 トン/年-CGL		★ 13/3 JV設立		
		CSVC (ベトナム) 30%	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万 トン/年		★ 13/4~		
		WINSteel (中国) 50%	約 230億円	ブリキ ライン等	80万 トン/年		★ 13/9~		
	鋼管	NS Pipe Mexico (メキシコ) 55%	約39百万\$	電縫鋼管 造管等	2.4万 トン/年		★ 13/5		
		VSB (ブラジル) 40%	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万 トン/年-SML		立ち上げ中		
		Southern Tube (米国) (OCTG加工) 100%	43百万\$	油井管 熱処理等	7万 トン/年				★ FY15本格商業生産

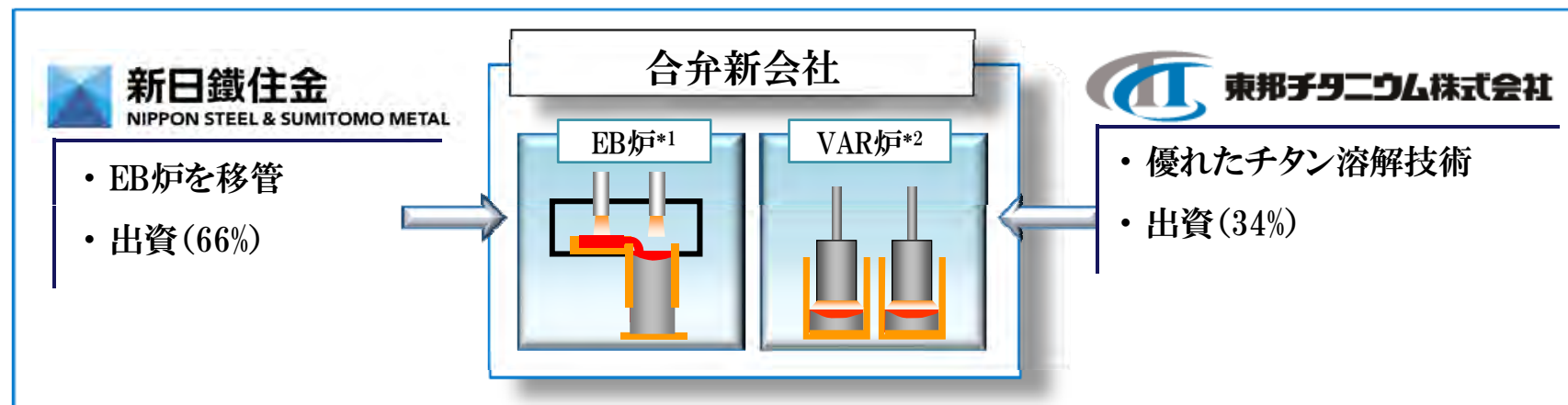
事業基盤強化に向け、
グループでの最適生産・業務運営体制の構築を推進中。

■ 特殊ステンレス厚板・チタン厚板の生産集約

- ・特殊ステンレス厚板、チタン厚板の生産を新日鐵住金ステンレスへ集約
- ・特殊ステンレス厚板は営業窓口も一元化

■ 航空機向けチタン合金分野の製造体制強化

- ・高品質なチタン合金の製造体制確立に向け、
東邦チタニウムとの合併新会社を設立



*1 エレクトロンビーム溶解炉 *2 消耗電極式真空アーク溶解炉(大阪チタニウムテクノロジーズより購入)

■ 電縫管事業の再編

- ・当社と日鉄住金鋼管の間の販売品種を再編
- ・海外電縫管事業を日鉄住金鋼管に一本化
- ・国内生産体制の再編

日鉄住金鋼管の海外電縫管事業MAP



製鉄事業競争力の更なる強化に向けた組織統合・再編成を実施

- ・製鉄所組織の一体化による業務運営の効率化
✓管理間接部門・上工程部門等の同一機能については一つの部組織に統合
- ・人員の採用・配置・育成面における人材基盤の強化
- ・技術・技能・ノウハウ等の共有化における業務レベルの向上
- ・新たな視点での連携施策の検討・実行の加速化

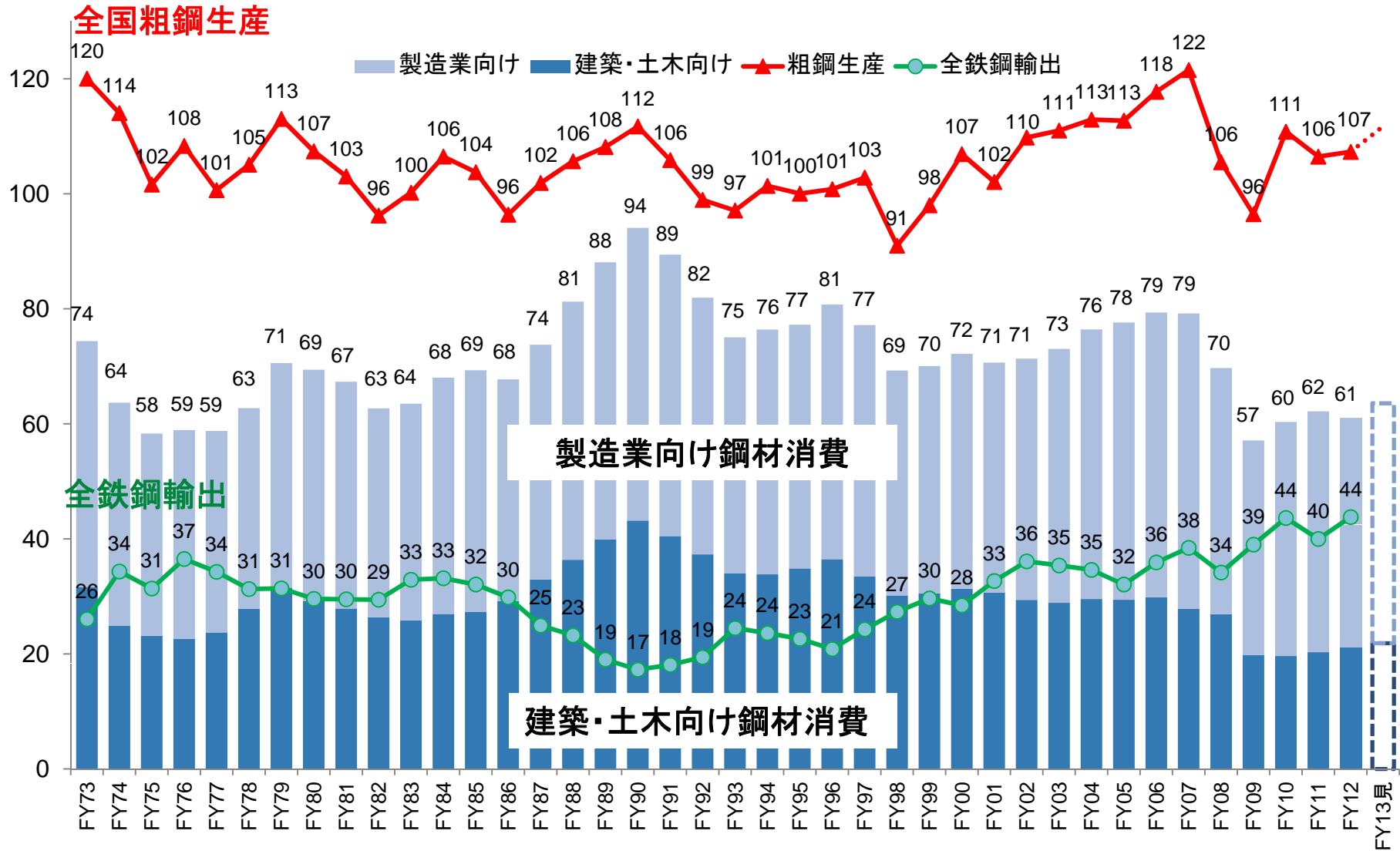


■ 実施時期 2014年4月1日

4. ご参考

国内鋼材消費推移

(百万トン)



(出所: 日本鉄鋼連盟)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

主要需要分野の活動水準推移

		FY12				FY13			差異		
		上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q ^{*2}	^{*2} 上期	12下 → 13上	13/1Q → 13/2Q	
建設	住宅着工戸数 (万戸)	44	24	21	45	89	24	25	50	+5	+1
	非住宅着工 (万㎡)	2,593	1,319	1,291	2,611	5,203	1,452	1,398	2,849	+239	-54
	公共工事受注 ^{*1} (10億円)	3,020	1,812	1,971	3,783	6,802	1,631	2,200	3,831	+48	+568
自動車	完成車生産台数 (万台)	491	226	239	465	955	229	250	479	+14	+21
	完成車輸出台数 (万台)	237	117	113	229	466	117	126	243	+14	+9
	海外生産(8社) (万台)	761	366	405	770	1,531	400	389	788	+18	-11
産業機械	大中型ショベル (千台)	38	17	16	33	71	18	20	37	+5	+2
	金属工作機械 (千トン)	214	96	85	181	395	71	85	156	-25	+14
造船	新造船起工 (当社推定) (万トン)	705	330	300	630	1,335	300	300	600	-30	—

リグカウムの状況	CY07平均	CY08平均	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	直近
米国	1,768	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,739 (13/10/18)
深井戸(≧15,000ft)	222	283	249	249	395	324	323 (13/8)
北米・露・中を除く世界	1,005	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,284 (13/9)

(出所: 各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額 *2 10月上旬見込み値



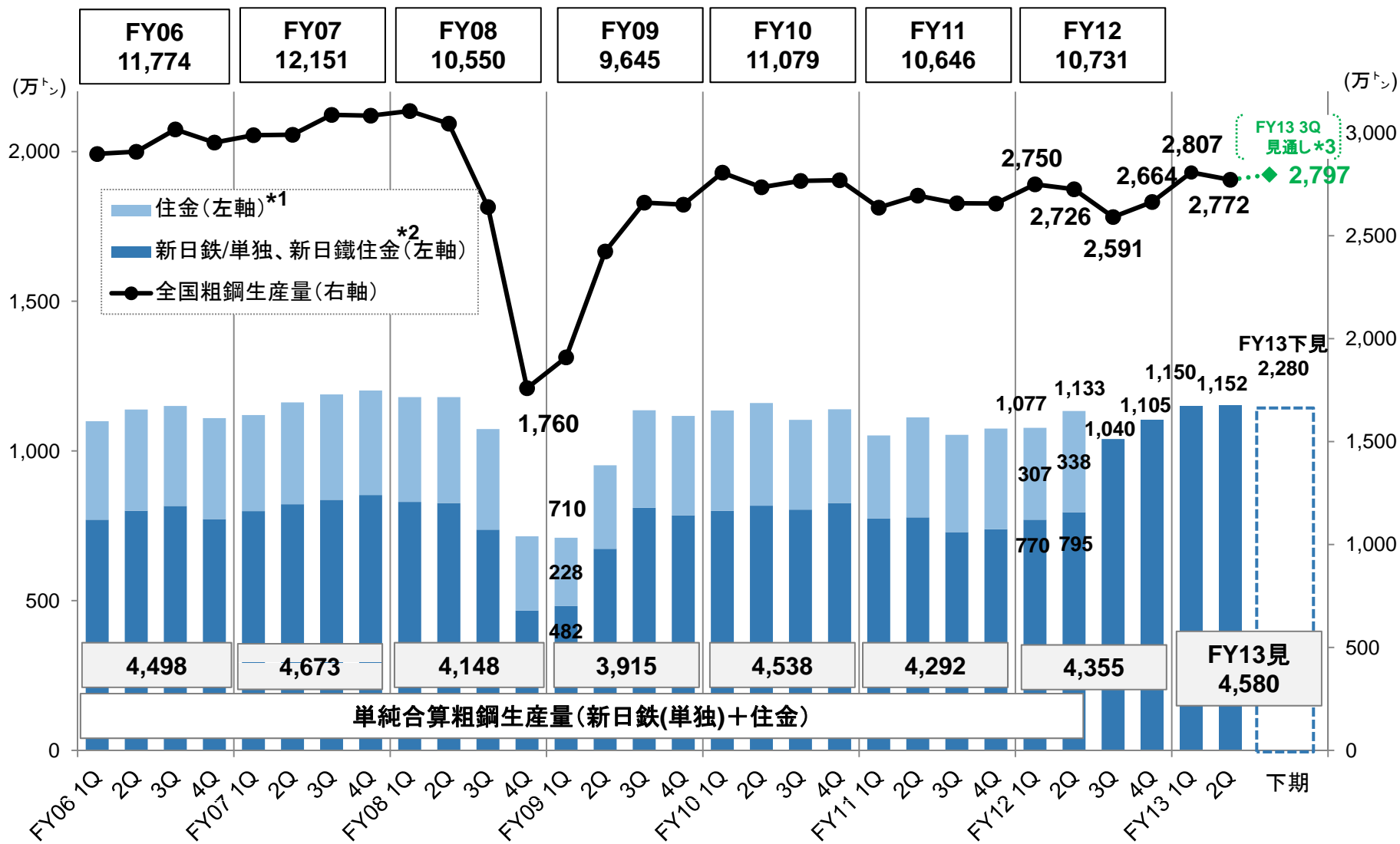
主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY12					FY13			差異	
	上期	3Q	4Q	下期		1Q	2Q ^{*1}	上期 ^{*1}	12下 → 13上	13/1Q → 13/2Q
全国粗鋼生産量	5,476	2,591	2,664	5,255	10,731	2,807	2,772	5,579	+324	-35
国内鋼材消費	3,061	1,542	1,533	3,075	6,136	1,532	1,593	3,124	+49	+61
製造業比率 (%)	66.2	62.9	63.7	63.3	64.8	63.9	63.7	63.8	+0.5	-0.3
普通鋼鋼材消費	2,433	1,230	1,218	2,448	4,881	1,211	1,260	2,471	+23	+49
建設	976	541	529	1,070	2,046	524	547	1,071	+1	+23
製造業	1,457	689	689	1,378	2,835	688	713	1,400	+22	+25
ウチ、造船	227	106	96	202	429	97	96	193	-9	-1
ウチ、自動車	589	274	291	565	1,154	287	304	592	+27	+17
ウチ、産業機械	240	115	112	227	467	113	119	233	+6	+6
ウチ、電機機械	154	69	70	139	293	73	71	144	+5	-2
特殊鋼鋼材消費	629	312	315	627	1,256	321	333	654	+27	+12
鋼材輸入	295	165	132	296	592	135				
鋼材輸出	1,989	962	1,031	1,993	3,982	1,000				

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 10月上旬見込み値

粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量



*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY13 3Q鋼材需要見通し(2013/10/1)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

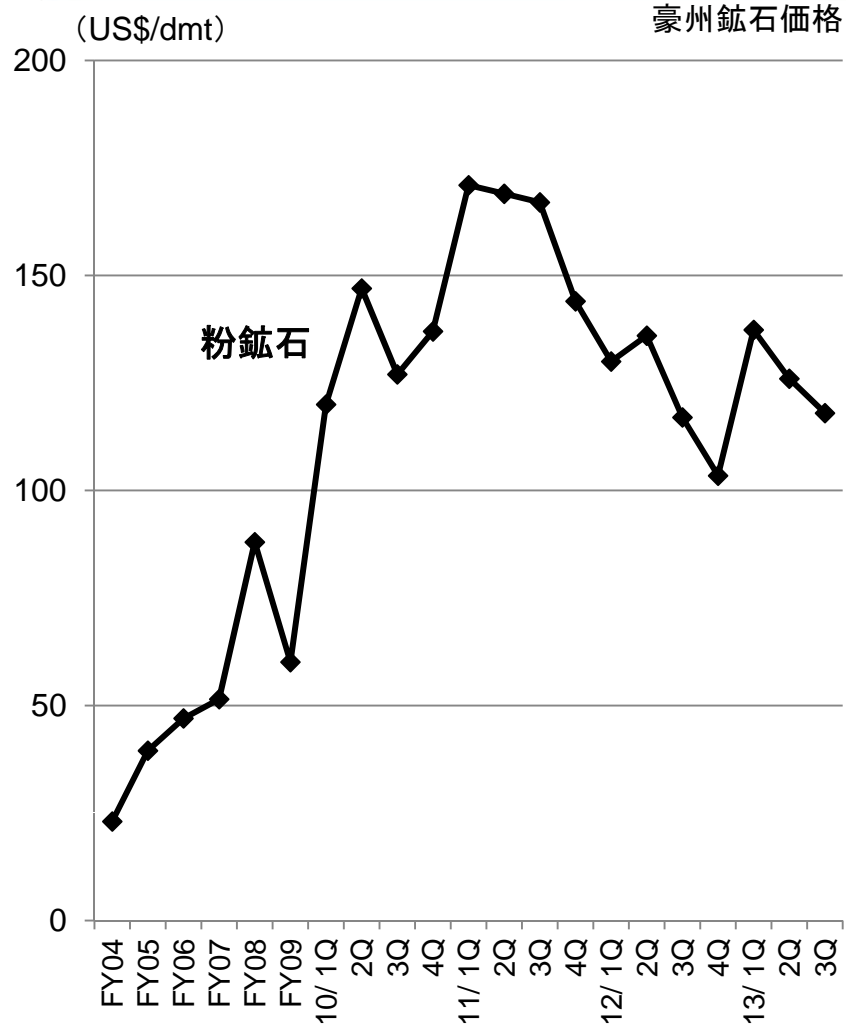
製鉄事業諸元

(単位:万ト)	FY12			FY13						差異		
	上期	下期		1Q	2Q	*4 (上見) 上期	下期 見通し	年度 見通し	12/下期 → 13/上期	13/上期 → 13/下見	12年度 → 13年見	
出鉄量 *1	2,213	2,176	4,390	1,130	1,147	(2,300)	2,277	2,270	4,550	+101	-7	+160
粗鋼生産量(連結) *2	2,334	2,269	4,603	1,213	1,214	(2,430)	2,427	2,400	4,830	+157	-27	+227
粗鋼生産量(単独) *2	2,210	2,145	4,355	1,150	1,152	(2,310)	2,302	2,280	4,580	+158	-22	+225
鋼材出荷量 *2	2,061	2,037	4,097	1,029	1,068	(2,120)	2,097	2,130	4,230	+60	+33	+133
シームレス出荷量 *2	53	55	108	26	32	(58)	58	60	118	+3	+2	+10
鋼材平均価格 *3 (千円/ト)	82.4	77.7	80.1	82.5	86.3	(85)	84.4	85	85	+6.7	+0.6	+4.9
鋼材輸出比率(%)*3 [金額ベース]	43	45	44	49	47	(48)	48	46	47	+3	-2	+3
為替レート(¥/\$)	80	85	82	98	98	(99)	98	100	99	13円安	2円安	17円安

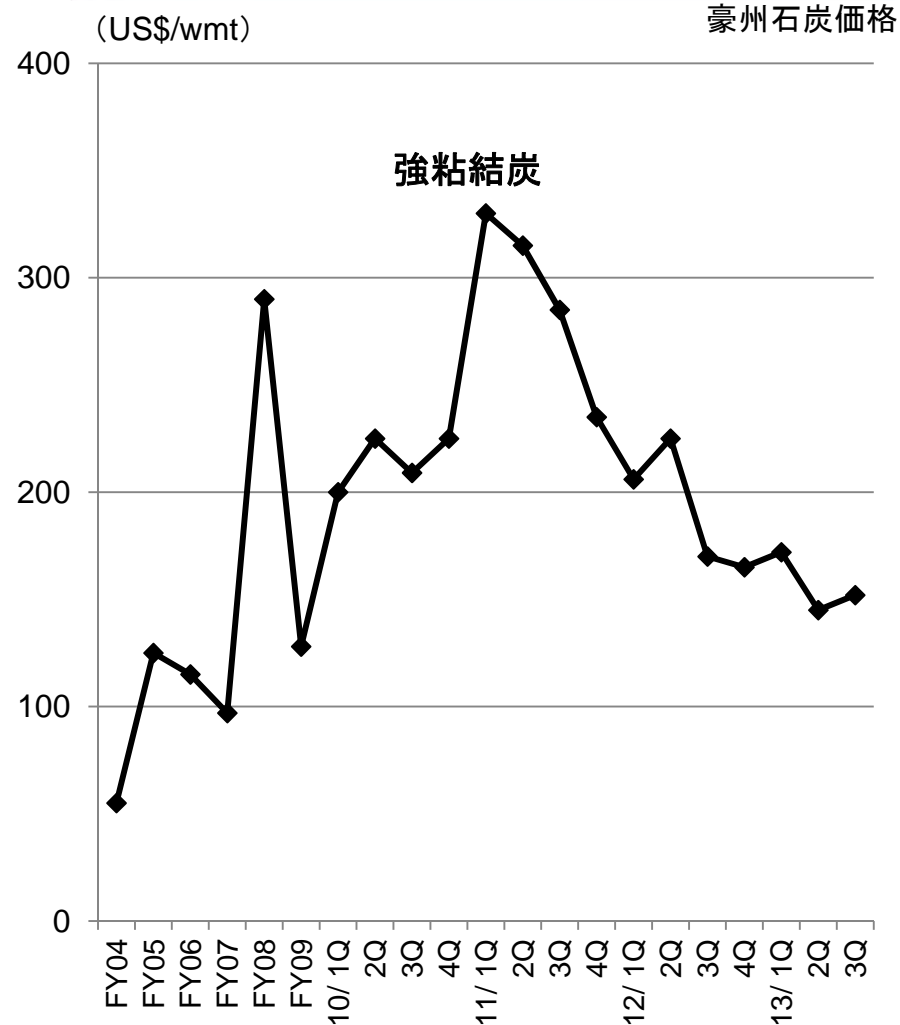
*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み *2 FY12上期は新日鉄+住金にて表記

*3 FY12上期迄は新日鉄・住金の加重平均にて表記 *4 前回公表(7/31)値

鉄鉱石



原料炭



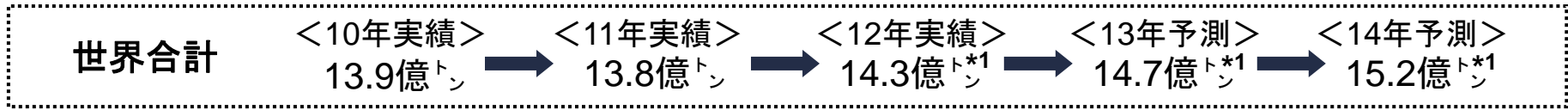
世界の経済成長率推移

<2013年10月7日IMF改定値>

								前回 (2013.7.9)			
	CY06	CY07	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13 見通し		CY14 見通し	
世界合計	5.1	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.2	(3.1)	2.9	(3.8)	3.6
先進諸国	3.0	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.5	(1.2)	1.2	(2.1)	2.0
米国	2.8	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.8	(1.7)	1.6	(2.7)	2.6
欧州	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.6	(-0.6)	-0.4	(0.9)	1.0
日本	2.4	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	2.0	(2.0)	2.0	(1.2)	1.2
新興諸国	7.9	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	4.9	(5.0)	4.5	(5.4)	5.1
中国	11.6	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	(7.8)	7.6	(7.7)	7.3
インド	9.8	9.4	7.3	6.8	10.6	6.3	3.2	(5.6)	3.8	(6.3)	5.1
ASEAN5*1	5.7	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	(5.6)	5.0	(5.7)	5.4
ロシア	7.4	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	(2.5)	1.5	(3.3)	3.0
ブラジル	3.8	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	0.9	(2.5)	2.5	(3.2)	2.5

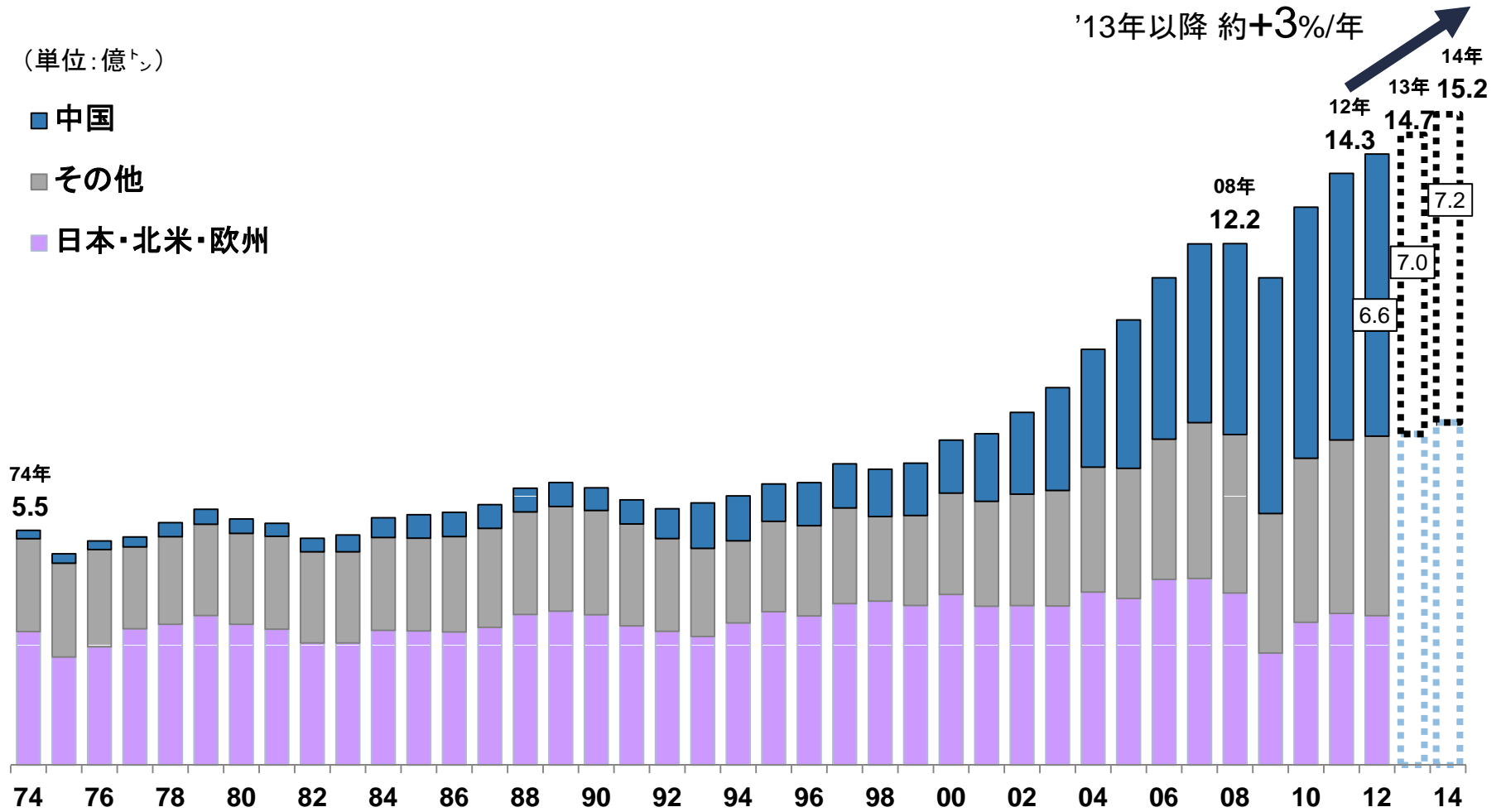
(出所: IMF) *1 ASEAN 5: タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位:億トﾝ)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association) *1 12年実績/13~14年予測(13年10月WSA発表)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

月別世界粗鋼生産量

(百万トン)	CY12 [A]						CY13 [B]					CY13 年率換算 [C] (B*12/9)	差異 (A→C)
	1-6	7	8	9	7-9		1-6	7	8	9	7-9		
*1 世界計 (YoY)	773.6	129.0	124.1	124.9	378.0	1,521.3	789.2	132.4	130.9	132.5	395.9	1,580.1	+58.8
							+2.0%	+2.6%	+5.5%	+6.1%	+4.7%	+3.9%	
日本 (YoY)	54.1	9.3	9.2	8.8	27.3	107.2	54.7	9.3	9.1	9.3	27.7	109.9	+2.7
	-0.0%	+1.1%	+3.3%	-1.0%	+1.1%	-0.3%	+1.2%	+0.4%	-0.7%	+5.5%	+1.7%	+2.5%	
韓国 (YoY)	34.9	5.9	5.6	5.7	17.2	69.1	33.1	5.6	4.9	5.2	15.6	64.9	-4.2
	+2.8%	+4.1%	+2.0%	+2.8%	+3.0%	+0.8%	-5.3%	-5.8%	-13.2%	-8.7%	-6.6%	-6.1%	
米国	46.2	7.3	7.6	6.8	21.8	88.7	43.1	7.4	7.5	7.2	22.1	87.0	-1.7
EU27	88.8	14.3	11.9	14.3	40.4	168.6	83.9	13.5	12.1	14.3	39.9	165.0	-3.6
ロシア	35.7	5.9	5.9	6.0	17.8	70.4	34.7	5.7	5.8	5.6	17.1	69.1	-1.3
ブラジル	17.4	3.0	2.9	2.9	8.7	34.5	17.0	2.9	3.0	3.0	9.0	34.6	+0.0
インド	38.7	6.4	6.6	6.2	19.2	77.6	39.8	6.7	6.6	6.5	19.8	79.5	+1.9
中国 (YoY)	361.4	61.6	58.7	58.9	179.3	716.5	389.1	65.5	66.3	65.4	197.2	781.7	+65.1
	+3.6%	+4.2%	-1.6%	+2.3%	+1.6%	+3.1%	+7.7%	+6.2%	+12.8%	+11.0%	+10.0%	+9.1%	

(出所 : World Steel Association)

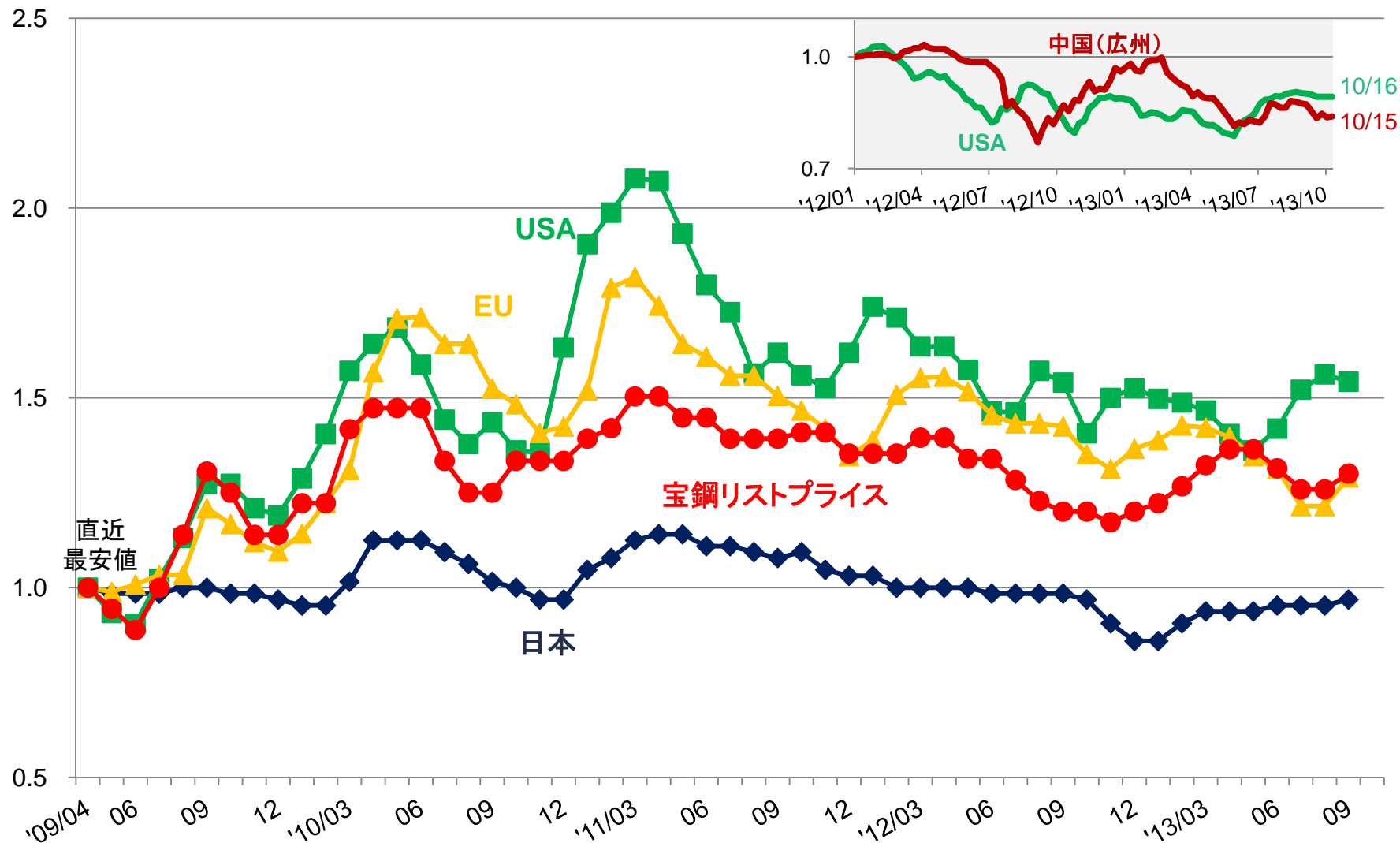
*1 世界65カ国の合計値

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

cf1) 直近の米国・中国(広州)市況 (2012年1月起点)

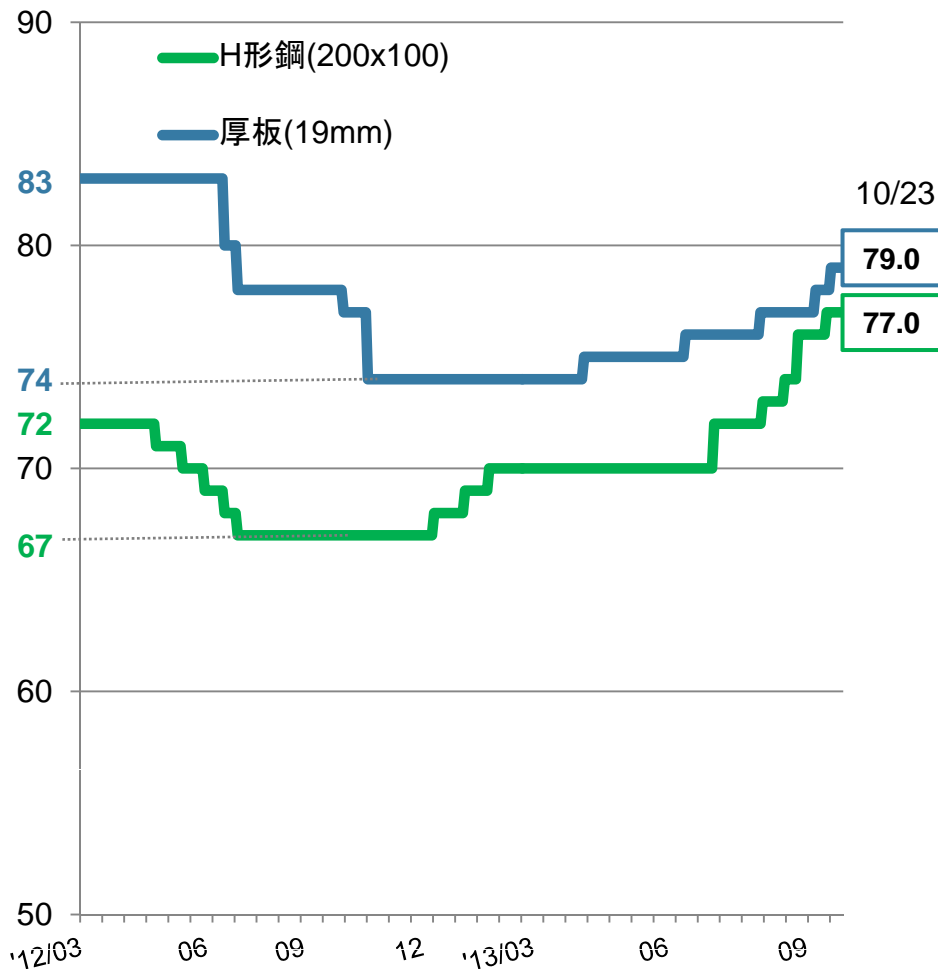


(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

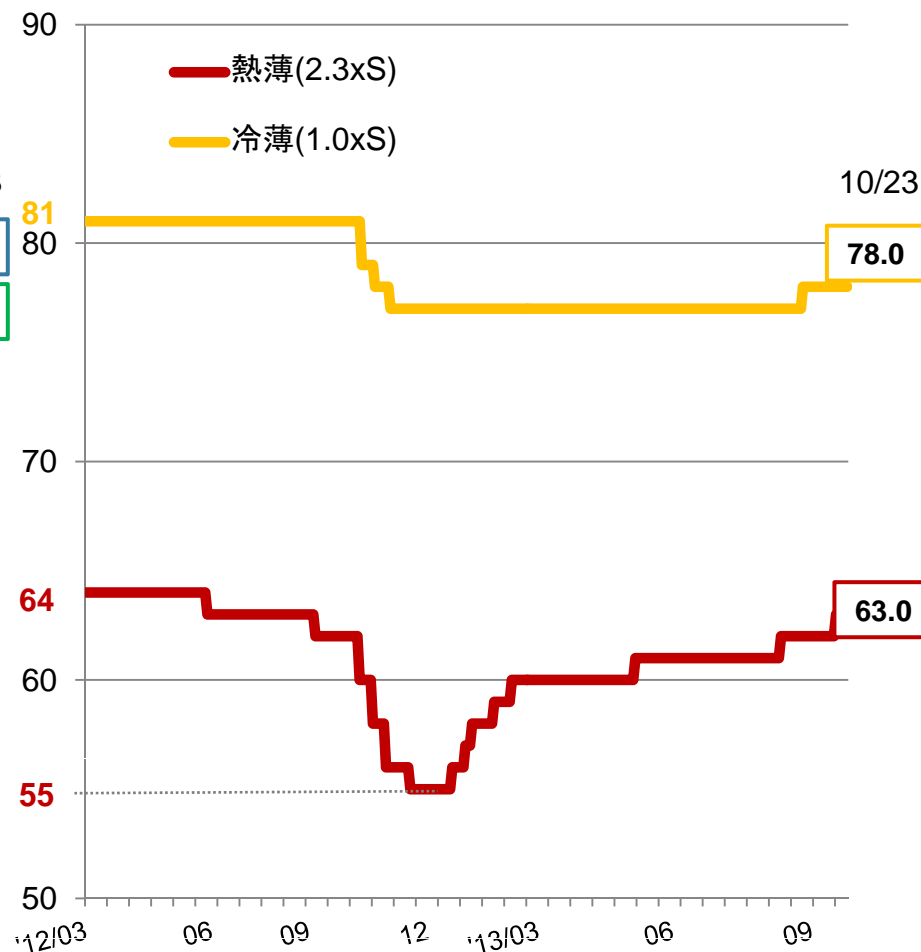
厚板・H形鋼

(千円/トン)



熱延・冷延

(千円/トン)

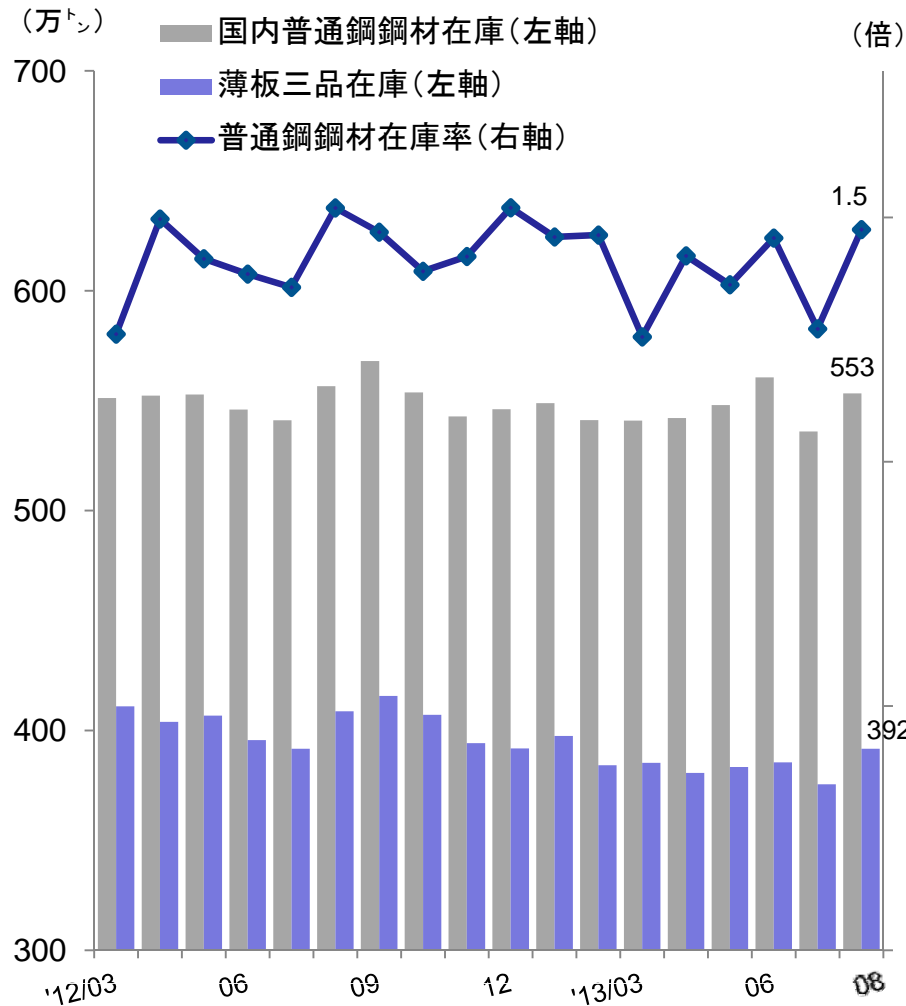


(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

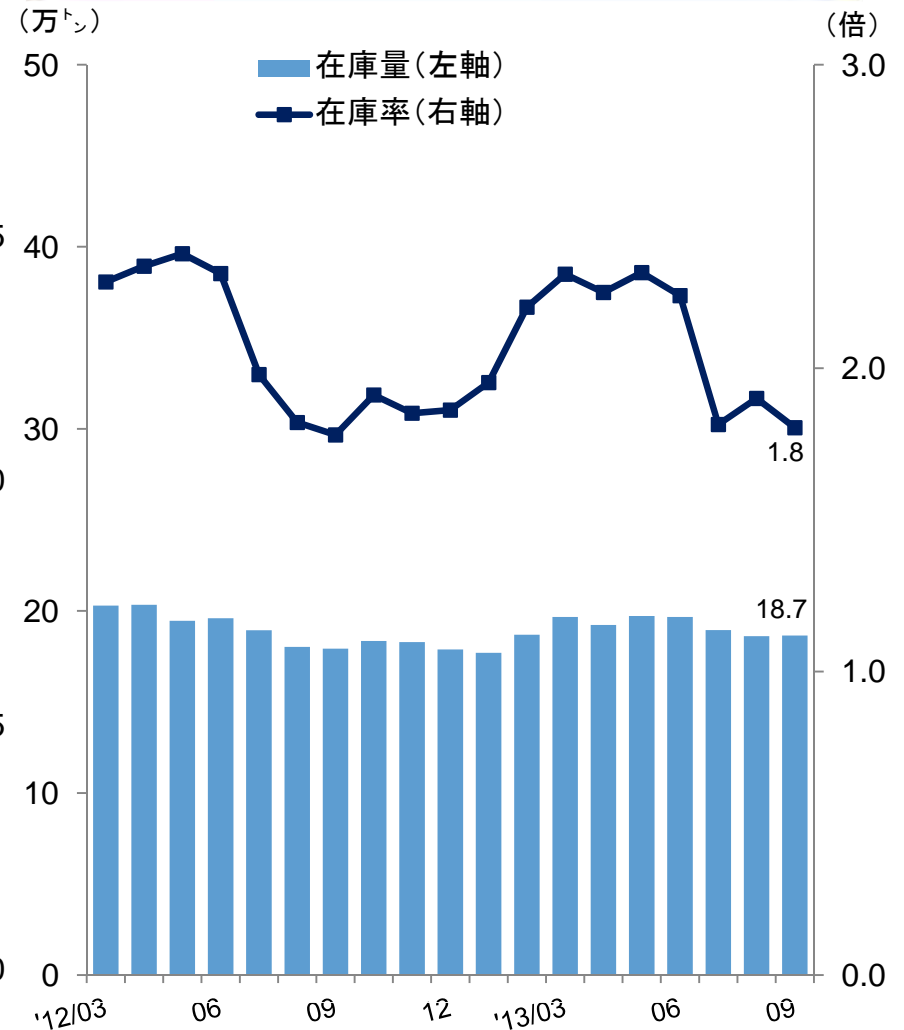
© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫



ときわ会(H形鋼)在庫

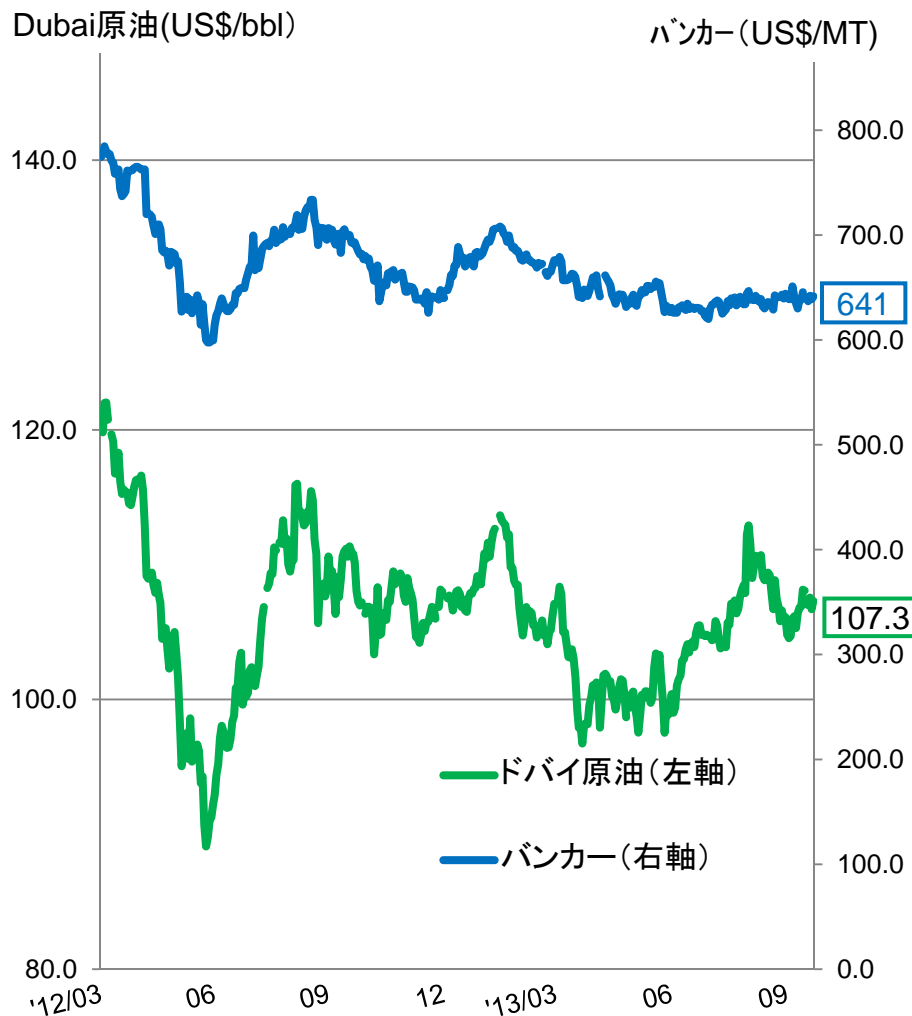


(出所:日本鉄鋼連盟)

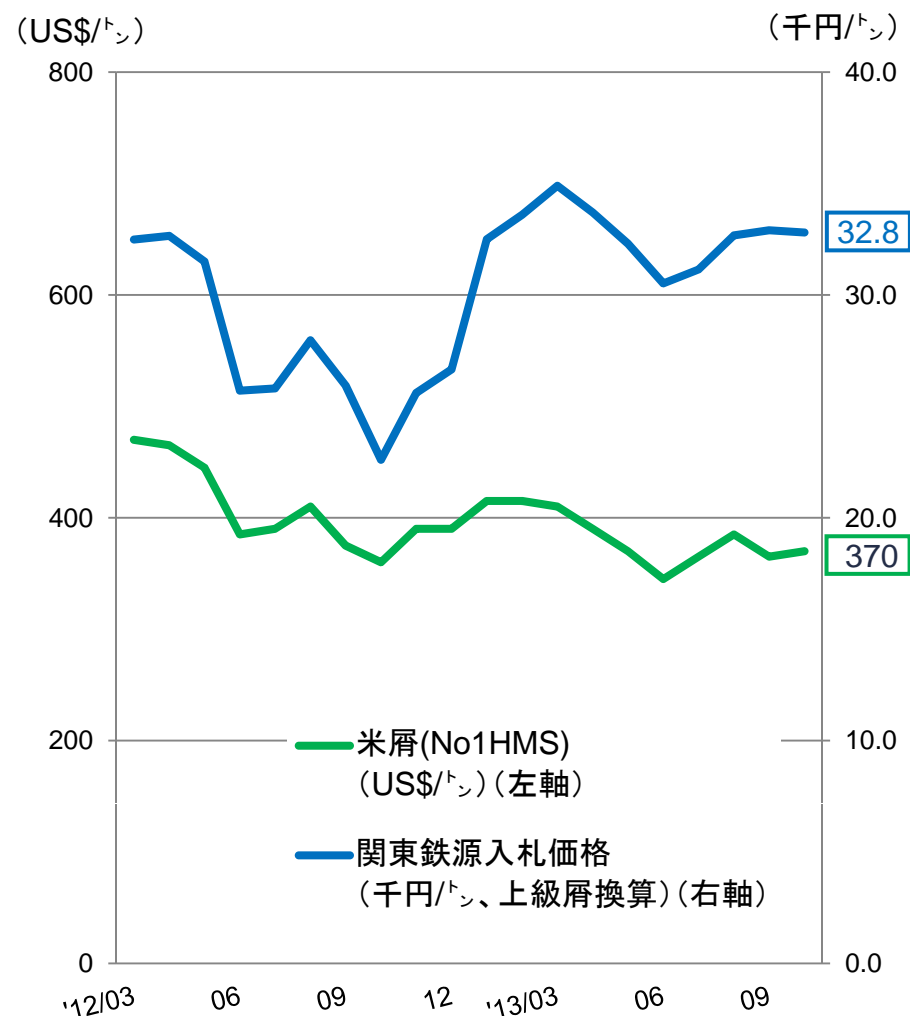
© 2013 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

原料市況 <原油・スクラップ>

原油

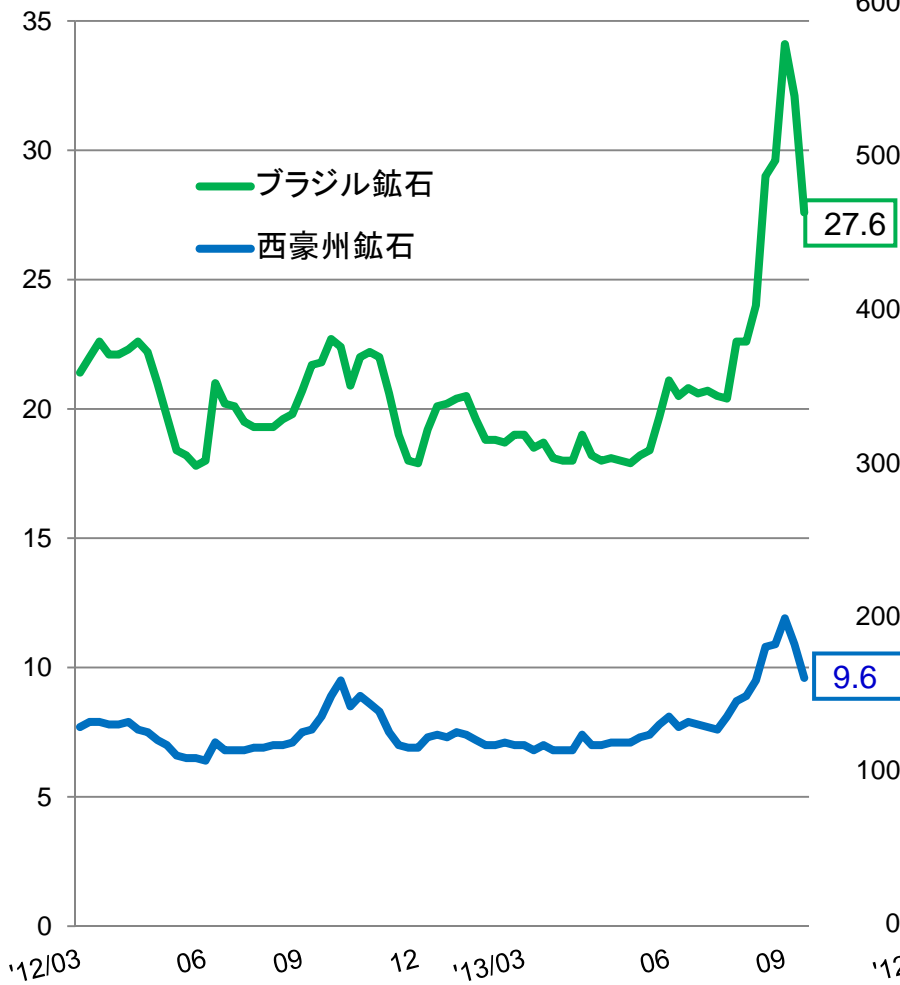


スクラップ



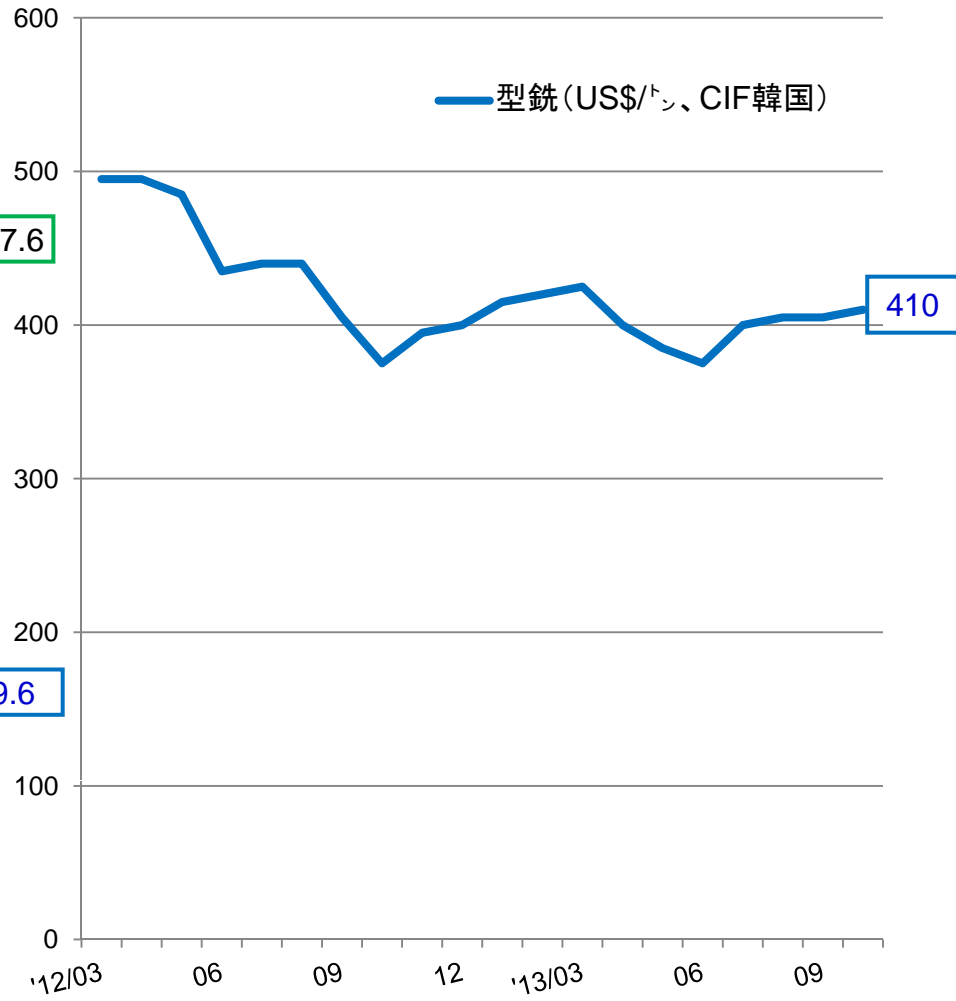
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

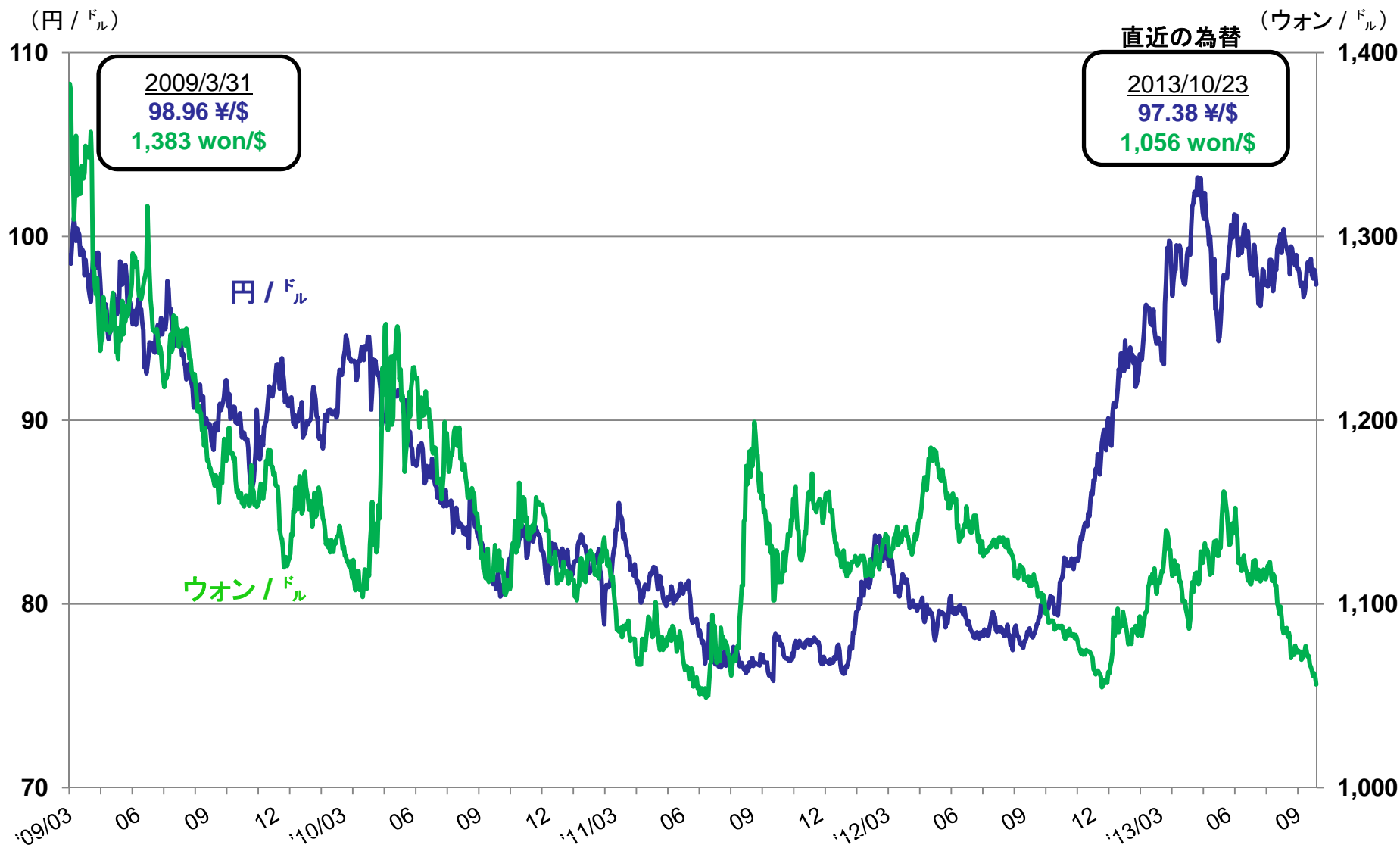


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



足元の為替推移（円/ドル, ウォン/ドル）



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。